学園だより

第251号

発　行
みちのくこども療育センター
みちのく・みどり学園
もりおかこどもクリニック
ことりさわ学園
盛岡市上田字松屋敷 11-14
☎ (019)662－5696
FAX　601－3053

新しい成長に礎になる年へ

みちのく・みどり学園　園長　西山　秀則

新年、明けましておめでとうございます。

２０２２年（令和４年）の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、当園の移転新築から無事２年目を迎えることができました。これもひとえに沢山の方々から心温まるご支援と、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、当園においても、体調管理の徹底及び、マスク着用等と感染防止対策を講じて来ました。そんなコロナ禍の中でも、子ども達同士の声掛けや、気遣い職員が寄り添い支えて来たことで、落ち着いて過ごせる環境が、当園の各ホームにあると感じております。未だコロナ禍ではありますが、引き続き、感染予防対策を継続しながら将来を担う子どもたちが、安全で安心且つ笑顔で成長することができるよう、地域交流活動をはじめ行事や体験を工夫したいと考えております。

元旦には、各ホームで生活する子どもたちに新年の挨拶をしてきました。職員と全力で雪遊びする姿や、居間で仲良くトランプをして、それぞれ団らんして過ごしておりました。1月8日（土）には、こもりうたホールで恒例の「新春の集い」が開かれ、子どもたちによる寅年生まれの抱負や、四ッ葉会の「意見発表会」や「餅つき」が行われ、みちのく・みどり学園の新たな1年がスタートしたところです。

さて今年は「寅」年です。厳しい冬を乗り越え、芽吹きの始めるのが「壬虎（みずのえとら）」で新しい礎となる特別な年とされております。

私たち職員一同、再度、基本理念の「子どもこそ原点」に立ち返るとともに、「子どもの権利擁護」の自己啓発、自己研鑽に努めながら、日々、ご支援いただいている方々の声を良く聴き、より良い養育・支援を目指し、新たな一歩を踏み出して行きたいと思います。

そして、職員一丸となりコロナ禍の荒波を乗り越え、子どもたちが、将来への希望を持ち続け、前を向いて歩んでいくことが出来るように努めて参る所存ですので引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

児童心理治療施設 北海道・東北ブロック職員研修

ことりさわ学園　副園長　樋渡　秀樹

本来は昨年度開催予定でしたが、新年コロナウイルスの影響もあり延期となりました。今回も感染が懸念されることから、初めてオンラインでの開催となりました。

テーマは「社会的養護に置ける自立支援」とし、講演ではもりおかユースポート理事長加藤源広氏を講師に迎え、その他、自立支援までの苦慮した退園生のケース２例の事例検討と「心理」「生理」「看護」のグループに分かれての意見交換を行いました。

講演ではもりおかユースポートを立ち上げた経過や苦労等をお話しして頂きました。自立するまで利用者が習得していなければいけないことや社会とのつながり等本来は施設でとしても大変ありがたいと思っていますし、また、卒業（退園）する前から会議を開き、どのように支援してくかを確認できることは本人も含め、安心できることです。

講演での印象に残っている言葉は、「大変な状況になる前に相談して欲しい」ということでした。「ねじれてどうしようもなくなってしまってからでは支援の幅も狭まってきてしまうし、何より利用者が動き出すまでに時間を要する」ということでした。

情報交換は初のオンラインということもあり、なかなかネット環境の不具合でうまくいかないことや事後のアンケートでは時間が足りなかったという意見もあり、今後の課題となって来ると思います。やはりコロナウイルスが落ち着き、対面で出来ることが様々な情報交換ができ、より有意義な研修になるのではと改めて感じる研修でした。

心鐘

株式会社カガヤ様から子どもたちにお年玉をいただくことになりました。今年で5年連続になります。

毎年のこととなると子どもたちの期待と夢が膨らむ。

私事であるが昨年末姉の結婚披露宴に姪が東京から夫と二人で出席した。

帰る際、私の孫たちに3人分のお年玉を預けた。

「何で」と聞いたら、「叔父ちゃんに小さいころからお年玉を頂いたことが嬉しくて忘れられない」と言った。

カガヤ様の今年のお年玉はこれまでの全員定額ではなく、それぞれ小・中・高校生別にとの提案があった。

頂く方はその意思も分からず、「それは困ります。定額でないと子どもたちのトラブルの元になります」と話したら、「それは悪平等ではですか。経験を積んだ年代にはにはそれに相応しい物（社会的評価）が必要ではないですか」と普段穏健な担当者が熱く語った。

これは社長以下社員皆で話しあった結果との事。

「凡事徹底」のものつくりが感動させる製品を作る。

クリスマス会

ケーキを沢山
寄付していただ
きました！

各ホームで
クリスマス会
楽しみました！

牧草会弁論大会

それぞれの想いを
発表出来ました

お餅つき

角浜のもち米で作りました

みどり学園

スキー教室

パノラマスキー場
に行ったよ

ことりさわ学園

収穫祭

コロナ禍により、例年とは違う形での開催でしたが、できるイベントを考え思い思いに楽しみました。

クリスマス

今年のクリスマス会は希望者で出し物を出して楽しみました。ご飯もとってもおいしかったぞです。

弁論大会

今年は初参加の児童が多かったですが、文章作りから時間をかけ
それぞれ自分の思いを一生懸命発表しました。

お正月

あけましておめでとうございます。お正月は豪華なご飯を食べて、いつもよりゆっくり過ごしました。今年も１年頑張る

つぶやき

私は次の居場所を見つけ
今はわくわくしながら
少しずつ
心と体を慣らし
旅立ちの準備をしている

生まれ育った環境が
普通なのだとしか思わず
変わりたいと願うことも
なかったあの頃
変わりたいと願って
ここに来て
いろんな人を頼って
少しずつ変わった私

これから先は私らしく
いられる居場所を
自分で探して　見つけて
生きていきます
お互いの成長を喜んだり
思いを
共感し合えたりする
そういう仲間と一緒に生
きていきます。

編集後記

今年も学園だよりをよろしくお願いします。コロナ禍が続きますが、子どもたちの元気な様子やしでも明るい話題を共有できたらなと思います

（佐々木優）